



Kotaro Fukuma

# 福間洸太朗 ピアノリサイタル

～三大楽聖のキセキ～

全4回リサイタルシリーズ

## 第2回 「幻想」

即興音楽から発展し、自由な形式の器楽曲として  
バロック時代に確立した「Fantasia(幻想曲)」、その中で  
冒險的に幻想世界をさすらう作曲家たちに迫ります。

2016.10.23 (日)

14:00 開演 (13:30 開場)

© Mark Bouhiron

入場料 ¥4,500 (全席自由)

### プログラム

【チケット取り扱い・お問い合わせ】

アピアチエーレ in 豊田 090-4233-3445 (吉田)  
ウェブサイト <http://a-piacere.jp/>  
カワイ名古屋 052-962-3939

モーツアルト： 幻想曲 ニ短調 Kv.397  
幻想曲 ハ短調 Kv.475

ベートーヴェン： 幻想曲 0p.77  
幻想風ソナタ『月光』 0p.27-2

シューベルト： グラーツ幻想曲 D.605a  
さすらい人幻想曲 D.760

主催及び会場 アピアチエーレ in 豊田  
豊田市浄水町原山335-3  
後援 河合楽器製作所中部支社

## 福間洸太朗 Kotaro Fukuma

### profile

パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。

20歳でクリーヴランド国際コンクール優勝(日本人初)およびショパン賞受賞。

これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ウィグモアホール、ベルリン・コンツェルトハウス、サルガヴォーでリサイタル他、

クリーヴランド管、モスクワ・フィル、イスラエル・フィル、フィンランド放送響、ドレスデン・フィルなど、海外の著名オーケストラとの共演も多数。

日本ではピアニスト100、トップ・ピアニスト、ピアノ・エトワール、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどのシリーズに出演する他、

オーケストラとの共演も多数。

昨年は「モーツアルト&シューマン:ピアノ協奏曲」と「モルダウ～水に寄せて歌う」(DENON)の2枚のCDを同時リリースするなど、これまでに10枚のCDをリリースしている。

2016年には、NHK交響楽団との共演や、パリにてパリ・オペラ座バレエ団のエトワール、マチュー・ガニオと共演するなど、

幅広い活動を展開。そして7月にはネルソン・フレイレの代役として急遽、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、

トゥアン・ソヒエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。

テレビ朝日系「徹子の部屋」やNHK FMなどにも出演。第34回日本ショパン協会賞受賞。

現在ベルリン在住。オフィシャル・サイト <http://www.kotarofukuma.com>

© 新村卓之

### プロジェクト：～三大楽聖のキセキ～

#### 第1回 「つぼみ」

初期の作品を中心に、作曲家のアイデアがふんだんに盛り込まれる変奏曲と、定まった形式の中で美しいモチーフやドラマが展開するソナタ、そして一般には「子供のための作品」と思われがちですが、実は成人してから作られた名曲を組み込んでいます。

#### 第3回 「転機」

「天才」と呼ばれる彼らにも、数々のドラマはありました。あるきっかけで作風が変わることもありました。モーツアルトはマンハイム・パリへの演奏旅行と、同行していた母の突然の死を経験した1778年、ベートーヴェンは「ハイリゲンシュタットの遺書」を書いた1802年、シューベルトは貧乏と不健康の窮地から一時的に希望の光が差した1825年翌年の作品を選びました。

#### 第4回 「ラストソナタ」

古典派の作曲家にとって、ソナタはシンフォニー、オペラと並んで、作曲家としての力量を明確に顯示することのできる種のパロメーターだと言えます。自己の積み上げてきた経験を活かし、精神を極限に追い込んで丹念に紡ぎ出された音の運びには、その人の世界観や人生観が滲み出ています。作曲家自身、これが「最後のソナタ」になるという意識がどれだけあったかは各々違うと思いますが、結果的にはどの作品も特別な神々しい光を放っています。

会場：ア ピアチェーレ in 豊田  
豊田市浄水町原山335-3  
<http://a-piacere.jp/>  
090-4233-3445



\* \* 下鉄鶴舞線(名鉄豊田線)  
「浄水」駅下車 徒歩7分  
\* \* お車でお越しの方は浄水駅付近の  
コインパーク等をご利用下さい

\* \* ナビをご利用の場合は「浄水小学校」を目的地として設定して下さい。

